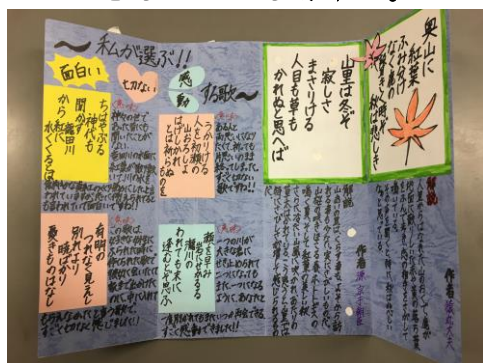


伝えること

自分の気持ちや考え方、あるいは興味のあることを、思いどおり正確に人に伝えることは実に難しいことですね。手紙、メール、広告など、伝える手段もさまざまです。

今、2年生の国語科での学習成果の一つとして、「私のこだわりリーフレット」が掲示されています。これは、一人ひとりが伝えたいと思う自分の好きなテーマ（分野）について、図書室の本を参考に、リーフレットという特質を考えながら、限られたスペースを有効活用して、作成したものです。

好きな食べ物、世界のおかし、漢字のなりたち、いろいろな楽器、歴史上の人物、自分が打ち込んでいるスポーツのことなど、皆さんの作品から、一人ひとりが興味をもっていることや関心事がうかがえます。どの作品を見ても興味深いのですが、皆さんは伝えるためにどのような工夫をしたのでしょうか。



2年 大西彩賀さんの作品

まず、伝えるためにはインパクトが大切！というわけで、「ショートケーキのショートって何？」というような問いかけの見出しがありました。内容では、クイズ形式で問いながら説明するものもありました。デザイン(色、文字の大きさ、イラストなど)にもかなり工夫が見られました。

私が特に注目したのは、調べたことを書き写すだけでなく、自分の考えをさりげなく説明した作品です。考えを押しつけることなく、自分のこだわりはしっかり伝える・・・そんな作品に魅かれました。

「伝えること」について、ある生徒の作文を読んで改めて考えさせられたことがありました。一緒に考えてみましょう。

(略) 人と他の動物との一番の違いは「言葉」を使うことだと思います。そこで「言葉」について思ったことを話そうと思います。最近、私が気になっている「普通」という言葉。質問の答えに一度は使ったことのある「普通」という返事。「これおいしい？」と聞かれて、「普通」。普通ってどんな味なののでしょうか？「今、どんな気持ち？」「普通」・・・。うれしいのか、悲しいのか、楽しいのか、辛いのか・・・。今、人とちゃんと話せない人が増えているそうです。何を聞いても「普通」と適当な言葉でしか返せない。うれしい気持ちや悲しい気持ちを伝えられない。そんな人が増えているそうです。

(略) 言葉には魂が宿ると言われています。「プラス言葉」に包まれて毎日を過ごす、その人は毎日を幸せに過ごすことができます。言葉は、心と心をつなぐ大切な道具。私自身もハッピーで幸せに過ごせるよう、普段自分が使っている言葉を見直して、冷たい「マイナス言葉」よりも温かい「プラス言葉」を使って生きていきたいです。それが差別をなくすことにもつながっていくと思います。

2年 角井穂香さんの作文より

社会に目を向けよう

先日、生徒会の取組として古本の回収が行われました。回収した古本を業者に買い取ってもらい、その収益金を、今なお地震からの復興途上にある熊本に送ろうとの考えから、生徒会本部の皆さんの声かけにより行った活動です。皆さんの協力により、約600冊もの古本を回収し、その古本は8,500円になりました。



額としてはわずかかもしれませんが、困っている人のことを思いながら古本を探して持ってきた一人ひとりの気持ちや、このような企画を考えて実行した生徒会本部の皆さんの行動に価値があると思います。古本を探しながらも適当な本が見当たらず持ってこられなかった人も、この活動の趣旨について考えられたということが大切です。社会に目を向け、困っている人のことを考え行動することは、社会全体をより良いものにし、ひいては自分の心や生活も豊かにしていくことにつながります。

前にも学校だよりでふれましたが、今年度は老上中学校がNIE（新聞を活用する教育）の実践校になりましたので、毎日数社の新聞を図書室においています。



授業においては、2年生の総合的な学習の時間に、興味を持った新聞記事について自分なりの考えをまとめ、他の人と意見交流をする学習を進めてきました。さらに現在は、新聞社に意見を投書する取組も進めています。こうした学習を通して、社会で起こっている様々な出来事への関心を高めることはもちろんのこと、新聞上の多様な表現に学び、表現力も高められるよう取り組んでいるところです。

朝型生活のすすめ

そして、続けましょう！

皆さんは何時に起きていますか。

私は最近、3年生の生徒に会うたびに、「生活を朝型に変えましょう！」と訴えかけています。いよいよ今週月曜日の県内私立高校を皮切りに高校入試が本格的に始まりました。そして、公立高校一般選抜入試までは約一ヶ月となりました。成功に近道はありませんし、継続して地道に努力するしかないのですが、試験当日に力を最大限に発揮するために、試験の時間帯に脳をしっかりと働かせる工夫をすることも大切です。脳がよく働くのは起床してから3時間後だと言われています。今から少しでも早く起きて、この一ヶ月で朝型に変えましょう。

3年生だけでなく、1, 2年生の皆さんも是非ともチャレンジしてみてください。ただ、無理な計画はいけません。3学期の始業式でも話しましたが、欲張らないようにしましょう。まず、今より10分だけ早く起きて、読書をするというのはどうでしょうか。10分を1年間続けたらどれだけの時間になるか、知っていますか。3,650分、要するに約60時間にもなります！積み重ねというのは大きいですね。



部活での朝清掃

「偉大なことを成し遂げるには、2つのことが必要。1つは計画、もう1つは不足気味の時間」これは、20世紀後半の偉大な指揮者レナード・バーンスタインの言葉です。限られた時間だからこそ、創造力や集中力が増して、力を発揮することができるという意味です。3年生の皆さん、強い気持ちをもって、健康に気をつけて、あと一ヶ月を乗り切りましょう。この一ヶ月が、君を大きくしてくれるのです。